

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和7年2月号

「令和7年度の教育課程編成」

校長 牧野 宏之

学校では、令和7年度の教育課程の編成に取り組んでいます。

「教育課程」とは学校の教育計画で、教育目標から始まり学校で行う全ての内容が含まれます。教育課程は、児童の姿や地域の実態等を踏まえて編成するため、各学校ごとに異なります。編成作業では、学校評価等から児童の実態を捉え、目標や方針を立ててそれを職員間で共有することからスタートします。（各教科の内容は文部科学省から示される「学習指導要領」で定められていて全国共通です。）

令和7年度学校教育目標：「何くそ みがけ つつしめ」

大正9年設定の校訓でもあり、地域に根付いた馴染みのある言葉です。

目標とする児童の姿は、

何くそ（たくましい姿） みがけ（向上心をもって主体的に学ぶ姿）

つつしめ（自他を大切に作る姿）です。

令和7年度重点目標：「みんなが楽しい学校」

令和6年度は、「支え合い、高め合う仲間」として、コロナ禍を経た経験から、仲間がいることによって成立する学校ならではの活動を大切に、集団としての向上を目標としました。しかし、児童にとっては少しわかりにくく、ゴールが見えにくかった点に課題が残りました。

そこで、わかりやすくイメージしやすい言葉として、「みんなが楽しい学校」という言葉を選びました。

「みんな」には、勿論自分も含まれていますが、自分だけでなく、相手への意識を大切にしたいと考えています。

「楽しい」については、児童自らが楽しさについて考える機会を大切にします。学習、遊び、行事等々、多種多様な場面での楽しさについて、児童と教員が一緒に考える機会をもちたいと思います。私たち大人は、いろいろな楽しさを知っています。仲間と力を合わせてやり遂げる楽しさだったり、目標に向かって挑戦する楽しさだったり、新しいことに挑戦する楽しさだったり、様々な体験を通して学びが深まる楽しさだったり……。

実際の生活では、『それって、「みんなが楽しい」になるのかな?』といった疑問や話し合いが生まれることと思います。そんな時、児童自身が楽しさについて主体的に考え、自らの行動を振り返っていくことを期待します。

様々な場面で、仲間と協力し合ったり、競い合ったりする楽しさを体験できるよう、児童会のお祭りや運動会では、それぞれの目的に合うよう工夫改善していきます。ご支援、ご協力をお願いいたします。